

## 【薬物全般】

番号	作品名／企画・製作等	制作	上映	内容
Z-30	Think about drugs!～私たちの選択～／ (公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	R5	15分	薬物の問題についてはこれまで学んできており、『ダメ。ゼッタイ。』は知っていて、ある程度の知識と悪いことだとの認識は持っている。それでもついネットやSNSで交わされる様々な情報、身近な友人同士との会話などを通じて、興味を持ってしまうかもしれない。 そんな年代の若者を対象に、まずは「事実を知ること」が重要であり、それが自分自身の健康を守ることになり、同時に「大切な友人を救うこと」にも繋がることを気づかせる内容になっています。
Z-29	薬物のはなし～どうして学ばなきゃいけないの？～／ (公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	R4	15分	「薬物乱用」という行為が自分の心とからだにどれだけ危険なことなのか、またその行為は自分の周りにどのような影響を及ぼすのか、更にもしも薬物乱用が広がってしまったら私たちの社会はどうなってしまうのか、まずは身近に迫る危険な薬物乱用について気づいて、手を出さないための知識について知り、その上で自分たちに出来ることは何かを考えるきっかけにしてもらいたいとの願いを込めた啓発動画です。
Z-28	それってホント？事例で見る薬物乱用／ (公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	R3	16分	「1回だけなら大丈夫？」「いつでもやめられる？」「合法的な国もあるから安全？」「個人の自由？」4つの事例をもとに、自分はどうか考えるか、他の人の意見はどうか、みんなで意見や感想を出し合って考えてみませんか。 ダメ。ゼッタイ。博士が、分かりやすく解説します。
Z-27	今、薬物問題を考えよう！～私たちの未来のために～／ (公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	R2	18分	普段の生活の中でなかなか実感しにくい薬物問題のリアルな実態を元麻薬取締官から聞くことで「今まで自分が持っていたイメージが実は違っていた、これまで見聞きしていた理解だけでは足りなかった」ことに気づいて、改めて自分や家族や社会にとって何が大切なことかを考えてみる。 大人への入り口年齢であり、情報吸収力の豊かなデジタルネイティブ世代の行動変容に繋げることを企画のテーマに設定されています。
Z-26	身近にひそむ薬物乱用／ (公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	H29.8	15分	身近にひそむ薬物乱用の危険を現役の小学校養護教諭がやさしく子供たちに伝えています。 (手話による通訳つき) 伊丹信子(手話通訳士)
Z-25	薬物乱用から自分を守る／ (公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	H30.8	15分	違法薬物だけでなく身近な一般薬でも乱用になること、脳へ与える3作用別の代表薬種の特徴とその影響、大切な脳を破壊する構造についてなどに加え、最新調査による大麻拡大の実態を通じて「薬物乱用から自分を守る」を学ぶ。
Z-24	薬物乱用はダメ。ゼッタイ！ ～やさしい解説！～／ (公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	H28.8	15分	埼玉県立精神医療センター協力のもと、薬物乱用がいかに危険で恐ろしいかを医師の話を交え、身体に及ぼす影響や薬物依存について分かりやすく解説しています。なぜ、薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」なのかを学びましょう。
Z-23	愛する自分を大切に！ 薬物乱用はダメ。ゼッタイ！／ (公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	H27.7	15分	「ダメ。ゼッタイ君」と「ダメ。くま君」の薬物乱用防止教室 パート2 薬物乱用はなぜ「ダメ。ゼッタイ。」なのかと危険ドラッグの恐ろしさ。とくに、中身が何が入っているか分からないことなどを説明します。

Z-22	薬物乱用はダメ。ゼッタイ。 ～脳を科学する～/ (公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	H25.6	15分	「ダメ。ゼッタイ。」君、博士にプラスで「ダメくま君」が初登場。薬物乱用がなぜ「ダメ。ゼッタイ。」なのか、脳への弊害を科学します。また、最近猛威を奮っている危険ドラッグ（違法ドラッグ）についても取り上げています。
Z-21	薬物汚染を許さない！ ～未来の日本のために～/ 公益財団法人警察協会	H29	40分	大麻や覚せい剤などの「規制薬物」、危険ドラッグに代表される「指定薬物」そうした危険な薬物を乱用することで心や体はどのようなダメージを受けるのか？ やめたくてもやめられなくなる「依存の悪循環」とは？ 薬物の専門家に話を聞く。
Z-20	「ダメ。ゼッタイ君」と「ダメ。くま君」 の薬物乱用防止教室 /(公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	H26.7	15分	薬物乱用がなぜ「ダメ。ゼッタイ。」なのか、一番大切な脳が破壊(破壊)されるからです。このことを「ダメ。ゼッタイ。君」と「ダメ。くま君」がわかりやすく説明していきます。また、最近猛威を奮っている危険ドラッグについても取り上げています。
Z-19	福岡県薬物乱用防止啓発用DVD /福岡県保健医療介護部薬務課	H25.3	43分	解説編とドラマ編の2つのCHAPTERで構成しています。 (1) 解説編(約18分) 薬物の種類や身体に与える影響などの基本的な解説に加え、薬物に誘われたときの断り方などを分かりやすく説明しています。(2) ドラマ編(約25分) 友人に誘われ、薬物に手を出してしまった少年。薬物乱用により、彼と彼の家族にどのような結果が待っているのかをドキュメンタリータッチで描いたドラマです。

### 【危険ドラッグ】

番号	作品名/企画・製作等	制作	上映	内容
D-1	危険ドラッグは“毒”だ！ /(公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	H26.9	15分	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター和田清前部長監修のもと、危険ドラッグの解説をしています。

### 【大麻】

番号	作品名/企画・製作等	制作	上映	内容
T-5	みんなで考えよう！大麻乱用防止教室 /福岡県保健医療介護部薬務課	R4	32分	中学生と専門家によるトーク番組風の動画で、中学生がクイズに挑戦したり、対処法を実践したりしながら学ぶ内容となっています。 ①大麻による健康影響編(約14分) 大麻乱用の実情、健康影響、困った時に相談することの大切さを学びます。大麻を使ったらどうなるのか？ についてのクイズに挑戦します。 ②大麻の誘いへの対処編(約18分) 少年たちが大麻を使ってしまったきっかけ、誘いから身を守るコツを学びます。トークアプリ、対面の場面での誘いを想定し、断ることに挑戦します。
T-4	大麻警報発令中！～アイメッセージで断ろう～ /(公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	R1.9	16分	乱用が拡大している大麻についてその危険性・有害性を分かり易く伝えながら、それでもなぜ使用してしまうのか、どう断ればいいのか、その対応と対策について具体的に提示します。全編最新の大麻特集ですが、その他乱用される薬物についても共通する大切な身の守り方を学ぶことができます。

【再乱用防止対策】

番号	作品名／企画・製作等	制作	上映	内容
R-2	薬物の乱用・依存・中毒の違いを理解する	H21.3	57分	薬物相談担当者向け。薬物の乱用・依存・中毒の違いを分かりやすく解説。国立精神・神経センター精神保健研究所の協力により福岡県薬務課作成。
R-1	薬物依存症者からの回復のメッセージ	H21.3	39分	薬物相談担当者向け。当事者としての体験に基づく、薬物依存症に関する知識や薬物の恐ろしさについての講話。九州ダルクの協力により福岡県薬務課作成。

※薬務課又は最寄りの県保健福祉（環境）事務所（保健所）を窓口として貸出しています。